



2023年8月14日

各位

会社名 K I Y O ラーニング株式会社  
代表者名 代表取締役社長 綾部 貴淑  
(コード番号：7353 東証グロース)  
問合せ先 経営管理部長 細金 悟  
(TEL：03-6434-5590)

## 第2四半期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2023年2月14日に公表いたしました2023年12月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 1. 2023年12月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値の差異 (2023年1月1日～2023年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (2023年2月14日公表)	百万円 1,620	百万円 △254	百万円 △256	百万円 △257	円 銭 △37.98
実績値 (B)	1,703	△126	△131	△132	△19.47
増減額 (B-A)	83	128	125	126	—
増減率 (%)	5.1	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年12月期第2四半期)	1,252	△402	△405	△440	△65.26

### 修正の理由

当第2四半期累計期間における業績につきましては、個人向け資格取得事業（スタディング事業）においては、テレビCMを始めとする各種マーケティング施策や組織の強化等の要因により、現金ベース売上が好調に推移いたしました。さらに、当期への発生ベース売上寄与率が比較的高い講座の売上が好調であり、その結果、第2四半期累計期間の売上が想定より高い着地となりました。法人向け教育事業につきましても、エアコースの販売が好調であることや、成長を支える営業体制を始めとした基盤整備を進めた結果、当初想定した売上を上回る水準で推移したことにより、2023年2月14日に公表した予想を上回る結果となりました。

費用面においても、売上原価、販売費及び一般管理費とも費用統制を実施し、主に前述したマーケティング体制による広告宣伝費のコストコントロールを実施した結果、当初想定した費用を下回る水準で着地し、営業利益、経常利益、四半期純利益とも予想を上回る結果となりました。

なお、2023年2月14日に公表いたしました2023年12月期通期業績予想につきましては、下期以降の業績推移を慎重に見極める必要があること、スタディング発生ベースの寄与率の変化によって売上の変動があり得ること、来期以降を見据えた更なる成長のための準備・投資などを行う可能性があること等の理由により、現時点で変更はございません。

以上